

(様式1)

平成31年度泊小学校自己評価表

学校名 湯梨浜町立泊小学校

校長名 山本洋介 印

1. 学校の教育目標

豊かな心と確かな学力を持ち、ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成

- 1時間単位で本時のねらいを達成できる授業づくりを推進する。
- 単元づくりや学習過程を創意工夫し、授業改善に取り組み、言語活動の充実を図る。
- ペア学習やグループ学習や情報機器の効果的な活用方法を工夫する。
- 少人数指導を生かし、個別指導の充実を図る。
- 校内授業研究会を充実し、学校全体での授業力の向上を図る。
- 外国語活動・外国語を推進し、外国語への興味・関心を高める指導に取り組む。(外国語活動・外国語授業研修の推進)
- 「家庭学習の手引き」や「家庭学習のがんばりカード」を活用しながら、家庭学習の習慣化を図るとともに、自主学習につながる家庭学習へとつなげる。
- 図書館利用の推進を図り、読書の習慣化を進めるとともに、授業の単元に関する図書の利用の充実を図る。

(2) 潮風の中でたくましく生きる心と体の育成

- 全校集会(あったか集会、しおかぜ集会等)の取組、縦割り班活動をより充実させる。
- 道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進し、思いやり豊かな心を育成する。(道徳科の授業研修の推進、MIM指導の推進)
- より良い言葉遣いのあり方については重点的に指導する。
- 潮風タイム(業間運動)の取組を活用し、学校全体としての意識の向上を図り、学校全体の体力の向上を図っていく。
- 食育指導を行い、健康な体づくりに関心を持たせるとともに、児童の基本的な生活習慣に関する意識の向上を図る。

(3) ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり

- 計画に基づく総合的な学習の時間の推進を図る。
- 特色のある教育活動とふるさと学習の充実を図りながら推進するとともに、招待給食・しおかぜカフェの取組の充実を図る。
- 学校だより、学級だよりを創意工夫し、子どもの活動の様子・子どものよさを積極的に情報発信する。
- ホームページを活用し、旬な情報を発信する。

3. 年度当初の評価項目

評価項目	現状	めざす姿	具体的方策	評価の方法
<p>○わかる授業の創造と確かな学力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科の研究1年目に学校全体で取り組んだ。授業改善の取組を行ったが児童保護者の実感にするに至っていない。 ・活用問題等を行うところに十分にたどり着いていない。 ・個人差のあるところへの支援が十分ではないところがある。 ・ペア学習・グループ学習の目的の向上を図っていきたい。 ・本格実施に向けて授業づくりの充実を図りたい。 ・家庭学習・読書の習慣化を図りたい。(児童・保護者アンケートに課題が挙がっている。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科の校内授業研究会が充実し、授業力を高めることができる。進んで自己研鑽に努めている。 ・1時間単位で本時のねらいを達成できる授業づくりを推進する。 ・基礎的、基本的な学習内容が定着し、意欲的に学習に取り組むことができる。 ・課題を自力で解決し、自分の考えを進んで発表し合い、わかりやすく伝え合うことで、一人一人の考えを深めていくことができる。 ・外国語活動・外国語に興味・関心を持ち、進んで会話を楽しむことができる。 ・家庭学習の習慣を身につけ、自ら学ぶ力を高めることができる。 ・図書館を活用し、読む楽しさを感じながら読書の習慣を身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究会で協議したことを日頃の授業に生かし、個々の授業力の向上をめざす。 ・県内外の研究会等への参加により、研修を深める。 ・ねらいを明確にし、1時間内で目的を達成できる授業づくりに努める。 ・少人数指導を生かしながら、個に応じた学習指導を進め、基礎学力の定着を図る。 ・情報機器の効果的な活用を工夫する。 ・話し合い高め合う学習スタイルや定着した学習規律を継続させる。 ・発問を工夫したり、思考力を深める場面をつくったりと同時に、ペア学習やグループ学習の使い方も工夫していく。 ・校内研修を通して、外国語活動・外国語の授業改善を図っていく。 ・「家庭学習の手引き」「家庭学習がんばりカード」を活用していく。 ・図書館利用の推進、授業の単元に関する図書の活用の充実を図り、児童の読書の習慣化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習指導と観察 ・学習アンケート ・児童アンケート ・保護者アンケート ・児童の発言内容 ・児童のコミュニケーション ・がんばりカードの記載内容 ・児童アンケート ・保護者アンケート

<p>○潮風の中でたくましく生きる心と体の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で歩もうとする雰囲気ができつつあるが、学校を離れたり、友だち同士になったりするとまだ課題が残っている。(言葉遣い、挨拶等) ・目標を立てての取組が、体力づくりの面で底上げがなされつつある。 ・健康心身をつくる取組の中で、メディアとの関係に課題があり、生活習慣の確立が十分になされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で共に生きていこうとする雰囲気ができている。 ・言葉遣いに気をつけて、思いやりのある言動を行い、学級の仲間とより良い人間関係を築くことができる。また、一人ひとりに合った指導を行い、充実した学校生活を送ることができる。 ・自分で、具体的な目標を設定し、体力の向上をめざして毎日の活動に取り組むことができる。 ・食育に関心を持ち、健康な体づくりに取り組むとともに、基本的な生活習慣に関し、意識しながら生活することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会、縦割り班活動をより充実させる。 ・道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進し、自他を大切に、思いやり豊かな心を育成する。(道徳科授業研修の推進、MIM指導の推進) ・言葉遣いの指導については重点的に指導する。 ・潮風タイム(業間運動)を活用し、自己目標を設定しながら、体力の向上に取り組ませる。 ・栄養主任の指導や委員会の活動での取り組みを継続し、食育を推進し、健康な体づくりに関心を持たせるとともに、テレビ視聴時間やゲーム使用時間についても意識していけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発言内容、集会の雰囲気 ・授業後の感想内容 ・学校全体での取り組み方 ・児童への支援のあり方と児童の変容 ・体力テスト ・マラソン大会記録 ・児童アンケート ・保護者アンケート
<p>○ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との双方向の取組にふるさと学習がなっていないところがある。 ・学校からのたより等の不十分さをアンケートで指摘されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとと泊小学校の教育環境の素晴らしさに気づき、誇りに思い、母校を愛することができる。また、地域の方への感謝の気持ちを深める。 ・学校だより、学級だより、ホームページを創意工夫し、保護者や地域に積極的に情報を発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づく総合的な学習の時間の充実に努める。 ・地域の施設や外部人材を活用し、特色のある教育活動とふるさと教育を推進するとともに、招待給食・しおかぜカフェの取組を充実させ、双方向の活動となるように進める。 ・学校だより、学級だよりを創意工夫し、子どもの活動の様子・子どものよさを積極的に情報発信する。 ・ホームページを活用し、旬な情報を発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート ・保護者アンケート ・学校一斉公開アンケート ・地域の方の声

